

都道府県名	香川県	授与年度	平成 14 年度
学校種	高等学校	担当する教科等	福祉
教授内容	基礎介護、社会福祉援助技術等		
教諭の前職等	病院、専門学院勤務(看護師、福祉専任教員)	年齢	44 歳
内 容	<p>対象学年 第2学年、第3学年          授業時間数(週コマ数) 16コマ</p>		
	<p><b>1. 授与・採用経緯等</b></p> <p>香川県教育委員会では、平成9年度から公立学校教員採用選考試験において免許状を有していない者も受験できる特別選考制度を新設した。平成14年度に高等学校「福祉」教科において、制度の適用者として免許状を有していない当該者が合格した。</p> <p>そこで、「特別免許状の授与に係る意見聴取実施要領」に基づき、意見聴取し、検定に合格して、平成14年4月1日特別免許状を授与し、香川県立高等学校教諭として採用した。</p>		
	<p><b>2. 具体的教授内容・活動実績</b></p> <p>現在、週16時間、第2・3学年を対象に福祉、看護の授業を担当している。介護福祉士国家試験受験可能校なので、前職で身につけた幅広い専門的知識と介護(看護)技術を生かした授業を行っている。同時に、社会福祉実習も担当しており、近隣の社会福祉施設での実習指導は、自己の経験に基づいて指導することができ、学校外でのボランティア活動も実践している。</p> <p>また、2年生の副担任として、ホームルーム活動に関わっているほか、校務分掌では臨床心理士受験資格を生かし、教育相談を担当している。</p>		
	<p><b>3. 効果・課題</b></p> <p>看護師としての経験を生かし、授業では専門事例を具体的に取り上げて行うため、生徒の興味・関心も高まり、介護福祉士国家試験へ向けて意欲的に取り組む姿勢が強くなった。また、大学院での研究生活もあり、向上心に溢れ、自己開発に熱心な姿は他の教員の模範となっており、学校運営の上でも不登校生徒への対応など客観的な状況で判断・行動ができ、その柔軟な発想は貴重であり学校全体に刺激を与えている。</p>		
内 容	<p><b>4. その他</b></p> <p>香川県教育委員会では、公立学校教員採用選考試験における特別選考、特別免許状授与制度を継続して実施し、学校教育を行う上で必要な人材の確保に努めていきたいと考えている。</p>		